

# スマートエイジング・シティ具体化手法現地説明会&見学会

～これまでの先行モデル3地域での取組みと新たな地域での取組み実現に向けて～  
in淡路・上新庄地区

14:00～14:30

<説明会>

『先行モデル3地域における取組みと現状』

大阪府政策企画部戦略事業室事業推進課長 山田 正弥

14:30～14:50

『大阪府公民連携戦略デスクの取組み』

大阪府財務部行政改革課参事 東口 勝宏

14:50～15:10

『大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォームの取組み』

大阪府商工労働部成長産業振興室立地・成長支援課長 檜原 弘幸  
(代理：大阪府商工労働部成長産業振興室立地・成長支援課課長補佐 山下 陽一)

15:10～15:40

『地域包括ケアのまちづくりにむけて』

よどきり医療と介護のまちづくり株式会社取締役管理部部長 石井 富美

～ 休憩 ～

15:50～16:30

<現地見学会>

- ・体組成計、骨密度計、血管年齢計などの機器による健康チェックコーナーの見学と体験
- ・看取りまでの総合的なケアを提供するホスピス型賃貸住宅「かご庵」の見学
- ・まちとくらしのイノベーション拠点「カドまる」の見学

16:30 散会予定

# スマートエイジング・シティの具体化手法

～『大阪府市医療戦略会議提言』戦略6の具体化を進めた経験から～

『大阪府市医療戦略会議提言』の具体化

大阪府政策企画部戦略事業室事業推進課

# スマートエイジング・シティの具体化について

---

- ボリュウムゾーンである団塊の世代全員が後期高齢期に到達する**2025年**まで、あと**10年**足らず。その後、さらに、**10～20年間**、**超高齢社会**が継続。

－**2040年の65歳以上人口**は、現大阪市人口に匹敵する規模（**269万人**）

※**2010年**以前のデータは「国勢調査、将来推計は、大阪府「大阪府の将来推計人口の点検について」（**2014.3**）における大阪府の人口推計（ケース2）を基に、府試算。

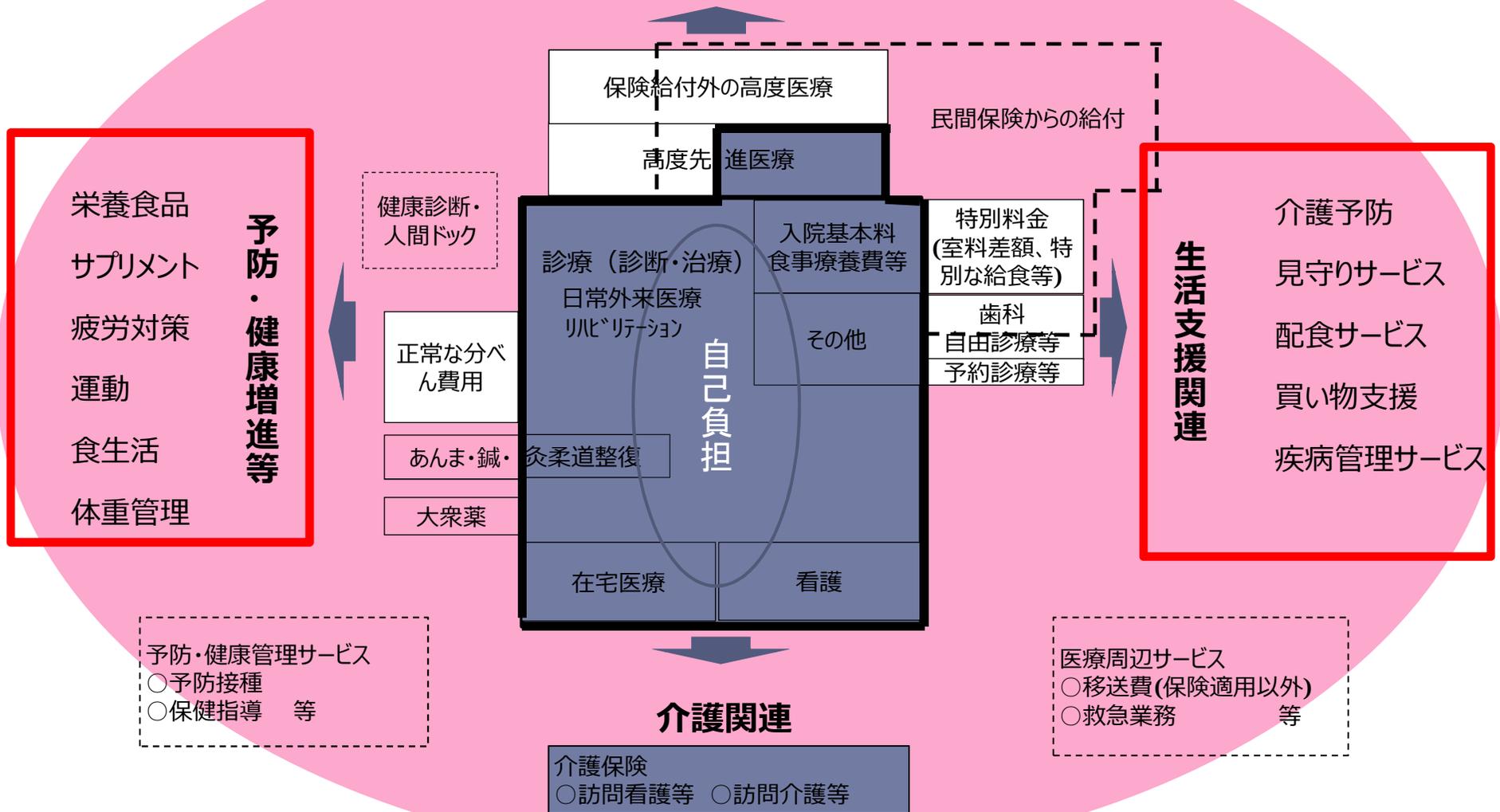
- 私たちは、『大阪府市医療戦略会議提言』（平成**26年1月**）に戦略6として示された、「ヘルスケア」と「エイジング」をコンセプトに今いる住民が住み慣れた地域で安心して快適に住み続けられ、多様な世代の新たな住民を惹きつける、超高齢社会における課題解決型の活気あるまちのモデル“スマートエイジング・シティ”を実現し、健康寿命の延伸を加速化する必要がある、と考える。

【参考】そこで、医療戦略で考える医療・健康づくりの範囲とは…

医療保険給付の対象とならない健康づくり・予防・未病対策の推進！

効率化、生産性の向上、規制緩和やイノベーションで産業振興と積極的な投資を推進！

高度先進医療等の研究開発



一部公費負担

公的保険の範囲

医療保険の範囲

介護保険の範囲

総保健医療支出範囲

※「OECD・SHA手法に基づく総保険医療支出推計」(財)医療経済研究機構 図1を改変

# 【参考】提言に示された7つの具体的戦略

①	予防・疾病管理、 府民行動変革	=	府民 保険者等	×	主役は消費者 治療から予防へ	→	健康指標の向上 健康格差の解消	保健医療提供機関等、 基礎自治体、大阪府等
②	レプトデータの 戦略的活用	=	保険者等	×	支払者の行動変革 医療費適正化 医療の標準化	→	医療の価値追求  情報管理産業化	府民、 保健医療提供機関等、 研究機関、大阪府等
	③	医療情報の電子化と ビッグデータの 戦略的活用	=	大阪府	×			創薬等ビジネス支援 医療データベース構築
④	地域密着型 医療・介護連携 最適モデル実現	=	医療・介護従事者 保健医療提供機関等 基礎自治体	×	多職種・多機関連携 市町村の主体性	→	保健医療サービス 持続可能性確保	大阪府
	⑤	増益モデル型 民間病院の高度化・ 経営基盤強化	=	民間病院 大阪府	×			増益モデル型 地域や規模の経済 資金調達システム
⑥	スマートエイジング・ シティ	=	基礎自治体 大阪府	×	サプライチェーン 仕組み・構造変革 まちづくり	→	重要戦略産業振興  生活総合産業化	府民 保健医療提供機関等 企業
⑦	スマートエイジング・ バレー構想 (産業振興)	=	大阪府	×	研究・開発 実証インフラ 認証制度	→	Aging in Place	企業・研究機関等

5

全国的な課題解決型の戦略：①④

大阪特有の課題を見据えた戦略：②⑤

新たな視点で先駆的な取り組みを実現する戦略：③⑥⑦

## 推進にあたっての基本姿勢

---

- } 互いに関連する7つの戦略を、特定の地域で、重点的に具体化し、相乗効果を期待
- } 市区町村の取組みを府が支援、連携協力
- } ハード、ソフトの両面から事業を検討、推進
- } 地域の事情に合わせ、地域の資源を活用
- } 長期的な視点を持ちながら、できることから実行

# 都心市街地と郊外住宅地の特性の概要

	都心市街地	郊外住宅地
地区例	大阪城東側森之宮地区	河内長野市南花台地区
位置	大都市圏の都心部	都市の外縁部
発展形態	古くから歴史的に発展	人口急増期に政策的に開発
人口	人口集中・人口密度大・人口横ばい	人口密度中・人口減
交通	至便・都心近接	課題有・都心まで1時間以上
都市機能	複合的多様	画一的で単一
立地施設	多様な施設が集積、混在 (木立、商・工・行・教・住)	特定の施設に特化 (住宅、生活利便施設)
医療・介護関連資源	比較的豊富	比較的貧弱
ストック	有り・ポテンシャル大※例外、地域差有	有り・ポテンシャルに差
地域コミュニティ	弱体化・社会的関係性希薄化	健在・自治会等加入高
高齢者	単身高齢者の増加 孤独・孤立化	現在は、元気な住民も多数 同年代が集団で高齢化

上新庄・淡路地区を中心とする東淀川区  
【都心部市街地下町的地域の課題に臨む】

# 特徴

---

- } 問題意識の強い地域内事業主体が事業を立ち上げ
  - － 地域の中核病院が地域包括ケアの実現の動きにいち早く対応し、より地域に根ざした医療・看護・介護の実践を使命として、あるべき提供体制を検討する中で、連携・協働・協創の視点から、多種多様な機関・団体等と事業を推進する体制が必要であると考え事業化
- } まちづくり株式会社による地域包括ケアのまちづくり
  - － 公的支援をアテにせず、経済合理性や持続性を確保するビジネスモデルをつくりながら、地域のニーズに応える公共性のある事業を推進
- } 地区医師会との連携協力を強く意識して事業を推進
  - － 継続的に随時、事業に関する情報を丁寧に提供、指導、助言を得ながら、協力関係を構築して、事業に取り組む
- } 地域の多職種連携のネットワークを活かす

# 推進体制

---

## } 事業全体の推進体制の核となるメンバー

- 地域医療の中核的役割を担う淀川キリスト教病院
- 地域の活性化に資する業務を支援する(株)地域経済活性化支援機構

## } 府も協力して、スマートエイジング・シティの具体化を推進

- 事業内容に応じて適切な行政分野を所管する担当部局が支援  
(住まい事業に関しては、住宅まちづくり部など)

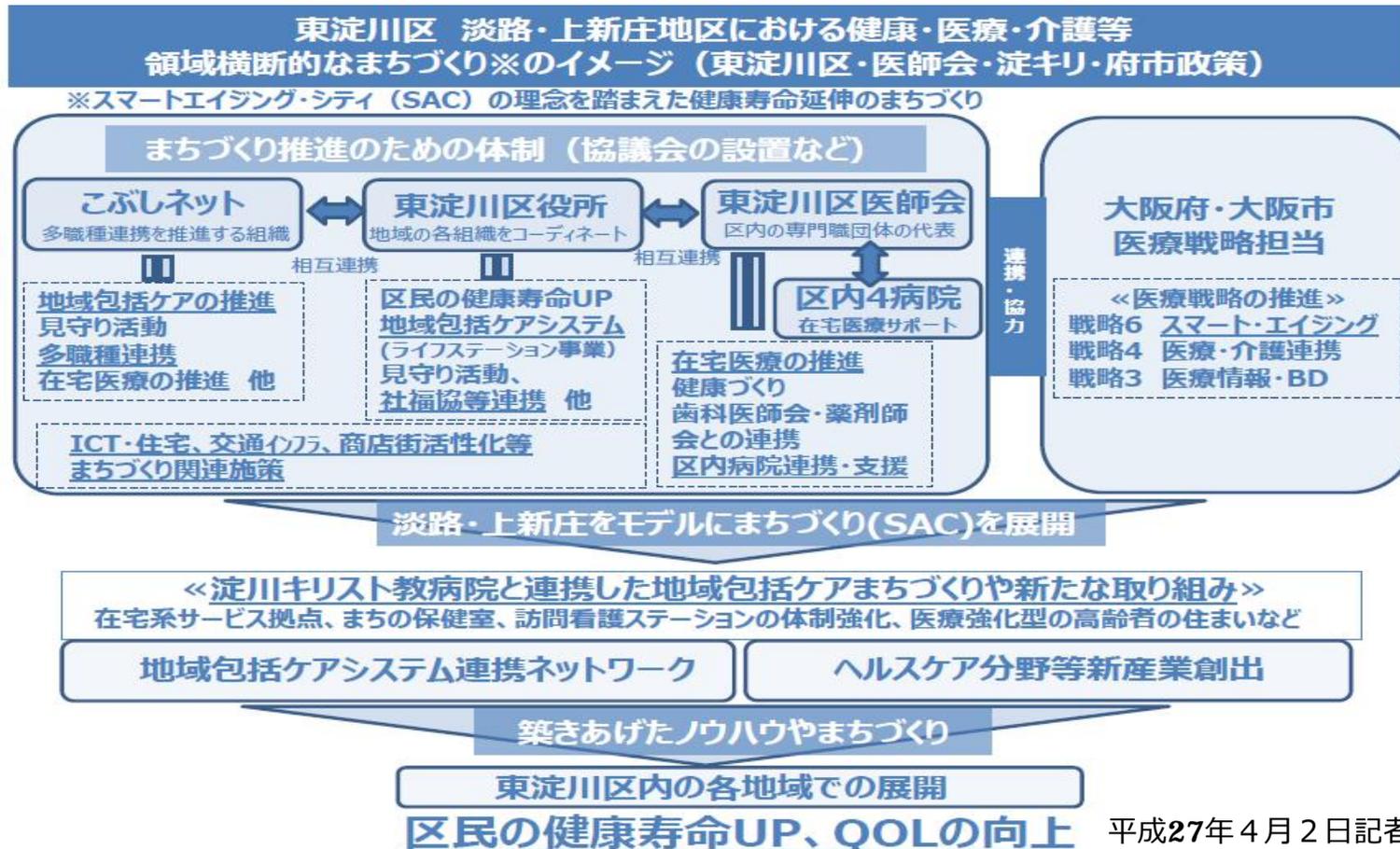
※「「地域包括ケアのまちづくり」を中心とするスマートエイジング・シティの具体化に向けた協力に関する協定」締結

## } 具体的な事業推進にあたっては、相応しい機関・団体・事業者が参画し、協働して事業を立案、実施していく

- 在宅介護を行う(株)やさしい手 など
- 今後は、コンビニエンス・ストアとの連携なども検討中

# 事業概要・推進体制

- 区役所、区医師会、こぶしネットの協調体制のもと推進
- よどきり医療と介護のまちづくり株式会社が事業主体となり、関係者との協調体制のもと、事業を推進



## 推進する事業の内容

---

- } 「時々入院、ほぼ在宅」を可能とする在宅療養モデルの実現に関すること
- } 地域包括ケアシステムの拡充に資すること
- } 生活支援分野におけるサービスの充実に関すること
- } 健康寿命延伸のためのヘルスケア分野におけるサービスの充実に関すること

※「「地域包括ケアのまちづくり」を中心とするスマートエイジング・シティの具体化に向けた協力に関する協定書」  
第4条「合意事項」から

大阪城東側・森之宮地域  
【都心部市街地集合住宅の課題に臨む】

# 1. 城東区エリア 特徴

---

- } 問題意識の強い地域内事業主体の提案に呼応
  - 地域の中核病院が、入院患者さんから見えてきた問題を提起され、対策を提案されたことが取組みのきっかけ。推進の中心メンバーとして参画。
- } 最終目標の明確化
  - 「孤独死」ゼロを最終目標として、課題と方向性を関係者間で共有
- } 行政内部の実務的検討会からスタートし、推進体制を確立
  - データ分析や課題抽出、地域内関係者からのヒアリング、先進事例の研究を重ねることで、関係者の納得感を積み上げる
- } 地域コミュニティが脆弱化する中での新たなしくみづくり
  - 集合住宅内への場づくりによるアウトリーチ、早期介入・支援のしくみづくり
- } ストック活用のポテンシャル向上のためにも問題解決を優先
  - 将来的な活用可能用地への投資呼び込みのためにも課題解決を急ぐ

# 1. 城東区エリア 推進体制

---

## } 事業全体の推進体制の核となるメンバー

- 地域医療の中核的役割を担う社会医療法人大道会森之宮病院
- 大規模団地を所有・管理する独立行政法人都市再生機構西日本支社
- 住民に身近な地域行政の責任を担う城東区

※「森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念を踏まえたまちづくりに関する協定書」締結

## } 趣旨に賛同し、有する資源を活かして事業推進に連携協力するメンバー

- 集合住宅内の薬局であるファルメディコ株式会社ハザマ薬局
- 近接地で保健・医療分野等の学術研究及び教育活動を行う学校法人

※「森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念を踏まえたまちづくりに関する協定書」に基づく覚書調整中

## } 具体的な事業推進にあたっては、相応しい機関・団体・事業者が参画し、協働して事業を立案、実施していく

- 今後は、コンビニエンス・ストアなども

# 1. 城東区エリア 推進する事業の内容

---

- } 住民の見守り、課題や不安のある方への早期介入・支援
- } 在宅療養モデルの実現
- } 地域包括ケアシステムの拡充
- } 地域リハビリテーションの推進
- } 生活支援分野におけるサービスの充実
- } 健康寿命延伸のためのヘルスケア分野におけるサービスの充実
- } その他、スマートエイジング・シティの具体化に関すること

※「森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念を踏まえたまちづくりに関する協定書」

第3条「事業推進事項」から

# 現在実施している事業の概要（1） ～在宅療養・介護・リハビリモデルルーム～

- } 目的：在宅療養生活の提案、専門性を活かした助言や支援
- } 開設場所：UR森之宮第2団地6号棟322号室
- } 利用時間：月曜日から金曜日の10時～12時・13～17時  
(要事前予約)

- } 定例オープン：  
毎月第2月曜・第4火曜14時～15時半  
(社医) 大道会の専門スタッフによる  
身体機能や生活状況に応じた暮らし方の  
提案や介護手技の指導、困りごと相談会  
などを実施  
⇒今後、さらなる活用を検討中



## ～在宅療養・介護・リハビリモデルルーム～

---

} 型式：3LDK（2戸1・改造住戸）

} 管理運営方法等

－URが住戸を無償で提供。

住戸の電気代はUR都市機構が負担。

－（社医）大道会の医療・介護・福祉の専門スタッフがボランティアで監修、運営協力。設置する福祉用具の費用、説明・対応するスタッフの人件費等は（社医）大道会が負担。

} コンセプト

・在宅での療養や介護は必要となった場合に、間取りや改修工事に制約があっても特段の工事を行わずに現在のお住まいで住みつづけられることを理解、体感してもらう

・従来の生活スタイルを尊重しつつ、福祉用具の活用等で工夫し、負担の少ない方法での対応を可能とする

## 現在実施している事業の概要（２）

### ～孤立化防止のための早期介入・支援ネットワーク検討会議～

- } 目的：関係協力機関が、地域団体等と連携して、ネットワークを構築し、孤立化防止に向けた早期の介入・支援を行う。
- } 構成：協定締結３者（森之宮病院、**UR**都市機構、城東区役所）  
地域包括ケアセンター、区社会福祉協議会、民生委員等介護福祉関係者  
警察、消防  
関西電力、大阪ガス、市水道局、市環境局等ライフライン関連機関等  
地域内薬局（ハザマ薬局）
- } 課題：困りごとや問題があるにも関わらず、孤立度が高く、行政や専門機関等の支援やサービスを受けていない高齢者が増加。このような場合、問題の発見が遅れ、事態が深刻化する傾向が強い。個人情報保護の制約が発見を遅らせ、問題解決や支援が十分届いていない。

## 2. 東成区エリア

### 特徴

---

- } 地域包括ケアシステムを推進する先行した取組みが充実
  - 地区医師会が多職種連携、在宅医療・介護連携を積極的に推進
  - 区社会福祉協議会や区役所が地域福祉活動と介護保険サービスを連続したものと捉え、暮らしやすい地域づくりを推進
- } 従来からの地域団体、医療・介護関係団体（関係者）、区役所の関係性を基盤に取組みを推進
  - 地域と高齢者支援施設等が情報を共有して高齢者を支援する地域づくりが進められており、今後も充実、発展が期待できる
- } 既にある、古くからの下町的地域特性に合った商店街空店舗を活用した連携・交流拠点を活用
  - 東成区医師会、介護・住まい・防災ネットワーク、区役所、協力関係にある **NPO**等が連携し、さらなる事業展開を検討・調整

## 2. 東成区エリア

### これまでの先進的取組み

---

- } 東成区医師会が積極的に在宅医療連携を推進  
(平成24年度厚生労働省在宅医療連携拠点事業として採択)
  - － 区医師会に地域医療連携室を設置、在宅医療を推進
  - － 多職種連携をスムーズに行うため、「在宅医療連携ガイドブック」を作成・配布。 など
- } 地域と高齢者支援機関が情報を共有し協働して支援
  - － 「高齢者安心登録システム」の構築、「おまもりネット手帳」を配布
  - － 地域福祉活動と介護保険サービスを連続したものと捉えて暮らしやすい地域づくり
  - － 区社会福祉協議会、地域ネットワーク委員会、商店街等が連携
- } 地域居住を支える連携・交流拠点「新道パトリ」のポテンシャル
  - － 市の補助事業を活用して、今里新道筋商店街内に、憩い・集いの場、看護・介護の相談・支援、地域情報の提供、暮らし・見守りの支援、気軽に楽しめる事業の拠点を整備・運営

## 2. 東成区エリア

### 推進を検討中の事業の内容

---

- } 健康、介護、子育てなどに関わり不安への相談
- } 必要な支援やサービスへの繋ぎ
- } 健康づくりや介護予防の魅力イベントや教室の展開
- } 多世代交流と、多世代の活躍、地域活動の場づくり
- } ビジネスプランとのマッチング

# 南花台を中心とする開発団地 【郊外開発団地の課題に臨む】

南花台スマートエイジング・シティ団地再生モデル事業

# 特徴

---

- } 問題意識と危機感の強い基礎自治体が事業を始動
  - 同世代が一時期に入居した住宅用途に特化した開発団地で今後急激に進む高齢化による影響、地域課題を認識するなか、“**10万人以上都市将来の貧乏度ランキング 1位**”などの報道等で危機感を一層強め、スマートエイジング・シティのモデル地域に一番に名乗りをあげる
- } **UR**の集合賃貸住宅団地の再生を研究テーマとする大学がいち早く問題提起、アイデアを出し、立ち上げから事業に積極的に参画
  - 文部科学省私立大学戦略的基盤形成支援事業『関西大学 戦略的基盤 団地再編プロジェクト』（**H23～27年度**）の研究対象地域とされる
- } 行政が所縁を逃さず、地域・市外の事業主体の参画を得る
  - 別の勉強会の繋がりをきっかけに「タニタ食堂」等ユニークな健康増進の取り組みで有名なタニタ(株)に働きかけ、連携協力を得る
  - 関西大学の研究にも積極的に協力し、強力な推進力を得る

# 推進体制

---

## } 公・民・学の連携による住民主体の事業体制

- 関西大学環境都市工学部建築学科が総合コーディネーター
- 地域住民団体の代表者が検討段階から参画

## } 市と府はスマートエイジング・シティの具体化を協力して推進

※「開発団地の再生を目的とするスマートエイジング・シティの具体化に向けた協力に関する協定書」締結

## } 住民団体、大学に、趣旨に賛同し、有する資源を活かして連携協力するメンバーも参画する総合研究会で事業を検討、推進

- 地区医師会（薬剤師会、歯科医師会）、タニタ(株)、コノミヤ(株)、（独）都市再生機構西日本支社、南海電気鉄道(株)、アトリエ・ノアノール

## } 総合研究会の進行は、プロのファシリテータ

- 特定非営利法人 S E I N 事務局長に委ねる

## } 具体的な事業は相応しい機関や事業者も参画したワーキンググループで立案、実施していく



# みんなの拠点づくり

## 拠点機能

- 健康の拠点
- 生きがいの拠点
- 情報発信の拠点
- 子育て・子育ちの拠点
- ★誰でも参加できる活動
- ★占有しない活動



地域の商業施設であるコノミヤ南花台店の空き店舗を無償貸付により活用

H28.3月全面オープン



関西大学学生が中心に  
設計・整備・運営

子どもから高齢者まで多  
世代交流が図れる拠点  
**「コノミヤテラス」**





# 健康仲間づくり

有資格者スタッフ、サポーター 14名が活躍

(11月より有資格者スタッフによる健康相談スタート)



島田病院のやってみたくなるトレーニング

(株)タニタの健康プログラムを通じて、健康づくりと仲間づくりを目指す。

10月4日スタート  
約80名が参加



「コノミヤテラス」に体組成計・  
血圧計・リーダーを設置



# まちの情報発信



広くまちの魅力を情報発信

地域住民による地域住民のための情報発信  
まちのホームページ制作  
「咲っく南花台.com」

地域の団体・お店・おけいこ、街ネタ等  
地域の情報



「コノミヤテラス」で情報発信



# 子育て・子育て環境づくり

地域の魅力を生かした、  
南花台でしかできない子  
育て・子育て環境づくり

**咲っく南花台U40会議**  
子育て世代のニーズ  
の把握と、子育て世  
代のまちづくり参画



## カヌーづくりプロジェクト

地域の子供から高齢者によ  
り地元木材を活用し、手づ  
くりカヌーを制作



## ニコニコサロン

地域の乳幼児の遊び  
場をつくり、子育て  
世代の仲間づくり・  
悩み解消



# スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー概要

# スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー①

## 「全国“まちの保健室”フォーラム2016」

### ～超高齢社会に寄り添う新たなまちの機能を目指して～

---

#### ●基調講演 1

「地域包括ケアの時代に向けて－地域を耕す医療連携と暮らしの保健室の実践－」  
株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション代表取締役 秋山 正子氏

#### ●基調講演 2

「コミュニティヘルスのあるまちづくりへ」  
慶応義塾大学環境情報学部兼政策メディア研究科・准教授 秋山 美紀氏

#### ●各地の活動報告とパネル・ディスカッション

・「看護の力を地域で活かす！－よどまちの挑戦－」

よどきり医療と介護のまちづくり株式会社取締役 まちケア事業部部長 三輪 恭子氏

・「地域住民による支えあいのしくみづくり－名張市の取組み－」

三重県名張市健康福祉部名張市地域包括支援センターセンター長 田中 明子氏

・「在宅医療からまちづくり、ひとづくりへ－ふくいまちケアプロジェクト－」

オレンジホームケアクリニック みんなの保健室 代表 紅谷 浩之氏

●資料：[http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyochousei/sac\\_torikumi/sac\\_seminar1.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyochousei/sac_torikumi/sac_seminar1.html)

---

# スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー②

## 「住み続けたいまち、住み続けられるまち」

### ～今なら間に合う！住宅地の高齢化対応と再生～

---

#### ●基調講演 1

「Aging in placeの実現とまちづくり – 東急グループの取り組みについて –」

東急不動産株式会社 執行役員 ウェルネス事業ユニット

ウェルネス事業本部 副本部長 小室 明義氏

#### ●基調講演 2

「延ばすのは線路でなくて健康寿命です – 地域と共に創造する地域の共有価値 –」

阪急阪神ホールディングス株式会社 事業政策部 部長 西水 卓矢氏

#### ●各地の活動報告とパネル・ディスカッション

・「官民連携で推進する「河内長野住み替え応援事業」について」

南海電気鉄道株式会社 経営政策室 経営企画部 課長 脇田 和憲氏

・「UR賃貸住宅における地域医療福祉拠点の形成に向けた取り組み」

独立行政法人都市再生機構 西日本支社 ストック事業推進部

ウェルフェア推進チーム チームリーダー 藤本 進太郎氏

・「健康寿命の延伸と元気な住民の活躍の場づくりを柱にした団地再生モデル事業」

河内長野市 総合政策部 政策企画課 主幹 谷ノ上 浩久氏

●資料：[http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyochousei/sac\\_torikumi/sac\\_seminar2.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyochousei/sac_torikumi/sac_seminar2.html)

## スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー③

### 「「孤独」、「孤立」の何が問題か？」

～見守り、見守られ、気づき、気づかれ、支え、支えられるコミュニティをめざして～

---

#### ● 基調講演

「優しいまなざしをつくる地域のきずな

－都市部における地域活動・有償活動・事業所による見守りの総合的な展開－

社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

事務局参事兼地域福祉課長 勝部 麗子氏

#### ● 各地の活動報告とパネル・ディスカッション

・「社会的課題解決に貢献する“近くて便利なお店”－セブンミールと見守り－」

株式会社セブンイレブンジャパン 関西ゾーン 総務担当マネージャー 黒瀬 陽一氏

・「孤独と孤立をなくす－コミュニケーション型見守りサービス－」

株式会社ころみ 代表取締役社長 神山 晃男氏

・「医療相談室から見た森之宮地域の課題と取り組み

－孤独死リスクに対する早期支援とモーリンハウス－

社会医療法人大道会森之宮病院 診療部医療社会事業課課長 藤井 由記代氏

● 資料：[http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyochousei/sac\\_torikumi/sac\\_seminar3.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyochousei/sac_torikumi/sac_seminar3.html)

# 企業版ふるさと納税スタート！

## 企業のかで地方再生

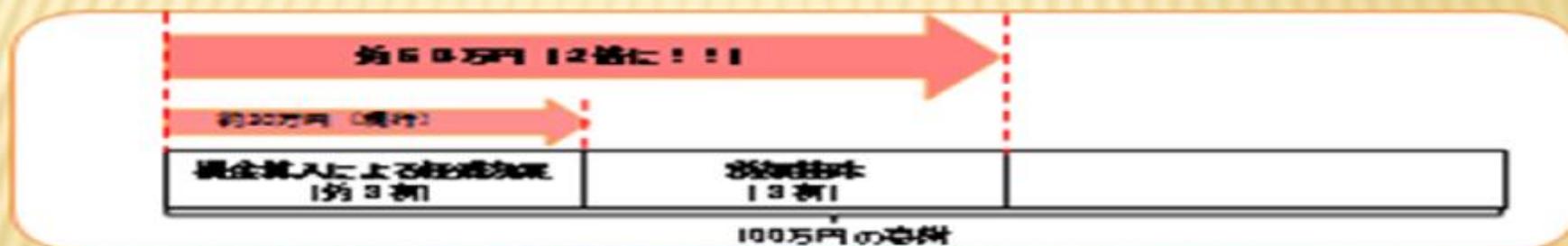
### 志のある企業が地方創生を応援する税制を創設

⇒ 地方公共団体による地方創生のプロジェクトに対して寄附をした企業に、税額控除の措置

### 企業の寄附に係る負担を軽減

⇒ 税負担の軽減効果を2倍に

例えば、企業が地方公共団体に100万円寄附をした場合、現行の制度では、寄附額の約3割（約30万円）の税の軽減効果がありました。地方創生応援税制では、新たに寄附額の3割（30万円）が税額控除され、これまでの2倍の約60万円の税の軽減効果があります。



### 活用しやすい制度

⇒ 寄附額の下限は10万円

大阪府へのお問い合わせ・寄付のお申し出は

⇒ 大阪府政策企画部戦略事業室事業推進課

事業推進グループ 藤野・谷口まで

☎ 06-6944-6118 Mail: TaniguchiSa@mbox.pref.osaka.lg.jp

いつでも！どこへでもご説明に伺います！！！！